

第37回栗東市中小企業振興会議 会議概要

- 日時： 令和5年7月27日（木） 午前10時00分～午前11時30分
- 場所： 栗東市危機管理センター2階 防災研修室
- 出席： <<委員>>
清水 憲委員（会長）、近藤 宏一委員（副会長）、田中 義信委員、杉本 浩志委員、
水沼 崇委員、高野 正勝委員、掛作 茉莉子委員
<<オブザーバー>>
栗東市商工会担当
<<事務局>>
環境経済部長、商工観光労政課長、商工観光労政課事務局担当
- 欠席： 山本 良人委員、梶本 修作委員、福永 直人委員

1. 開会

（商工観光労政課長）

2. 市民憲章唱和

3. あいさつ

（上山副市長あいさつ 省略）

4. 委員の委嘱および紹介(参考資料1)

参考資料1を基に委員を紹介。

任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日

5. 会長および副会長の選任(参考資料1・2)

会長 清水 憲氏（栗東市商工会長）

副会長 近藤 宏一氏（立命館大学経営学部教授）

※前回任期から引き続きの就任

（清水会長あいさつ 省略）

6. 会議の公開にかかる取り扱いについて(参考資料3)

栗東市付属機関等の会議の公開に関する規則に基づき「公開」を前提とし、非公開とする場合はその都度諮ることとし、今年度の開催においても同様とする。

7. 報告事項

（1）商工振興ビジョン後半期ロードマップに係る進捗状況について（資料1）

○事務局説明（省略）

【おもな意見交換】

委員： 域内調達率について、計画値に対して実績値が低く表れている。どのような計算をしているのか。

事務局： 域内調達率に関しては、消耗品費等だけでなく、委託料等も含めて計算している。

委員： そもそも、栗東市の事業所ではできない委託業務もあると思うので、費目に関しては見直しをする必要があるのではないかと。

事務局： 商工振興ビジョンの位置づけとして、域内調達率を KPI としているものであり、次期ビジョン策定の際に域内調達率の考え方に関しては見直しを検討する。

8. 協議事項

(1) 今年度の主な実施事業の概要について（資料 2）

○事務局説明（省略）

【おもな意見交換】

委員： プレミアム付商品券について、好評であったため予算がついているということであるか。

事務局： プレミアム付商品券は好評の声をたくさんいただいているところではあるが、令和 4 年度の繰越予算としてついているものであり、予算の最大限のところまで事業実施する。

委員： プレミアム付商品券について、利用者にとっては好評ではあると思うが、事業者の意見等はどのようなものであるか。

事務局： 利用者・事業者の双方にアンケートをとっており、好評の意見が多数寄せられた。事業者においては売上の貢献等、事業継続及び発展に寄与したとの意見が多かった。

委員： 苦しい経済状況の中では、プレミアム付商品券等は効果のあるものであるかもしれないが、今後の施策として将来を見据えた施策を検討していく必要があるのではないかと。情報収集を実施していく必要があると思われる。

委員： プレミアム付商品券について、決まった店舗で利用することがほとんどであるように感じる。例えば、転入者に対して、商品券を配る等が出来れば、新たな店舗開拓につながるのではないかと。

事務局： 転入者に対して商品券を渡すことなどは難しいが、転入者等に対する周知等を実施していく。

委員： プレミアム付商品券について、チケットの利用先の業種等はどのようなものか。

事務局： 直近のアンケート結果では、食料品や日用品、飲食で利用された利用者が多かった。

また、普段買物をしないお店で利用したと回答した利用者が6割弱であった。

(2) その他

○事務局

- ・ご意見シートを添付しているため、会議後に意見等あれば記入していただきたい。
- ・昨年度の予算要求時に、県が実施している補助金の追加支援をするのではなく、独自の事業を検討していく方が良いとの意見をもらっており、委員に凶る新たな補助金事業の提案等については第2回目に提案していきたい。

7. 閉会

(近藤副会長 あいさつ 省略)